「肺がん術後連携パス」にご協力いただける先生へ
（フローアップと術後補助化学療法）

1. 対象患者について

肺がん術後連携パスの対象患者さんは、原則として以下のすべてを満たす方としています。

- 肺がん治癒切除術後、ＩＡ、ＩＢ期
- 告知済み
- 直近の検査で異常なし

2. かかりつけ医の先生の初回診療日の確認（予約）

患者さんから「連携パス」導入の同意が得られれば、担当者から初回診療日の確認（予約）の電話をさせていただきます。予約が必要な場合は、予約日時をお知らせください。

3. かかりつけ医の先生の初回診療時と毎月診療時

初回診療時には、患者さんに以下のものを持参していただきます。

- 診療情報提供書
- その他の資料一式

毎月診療時には、投薬と可能な範囲での検査等をお願いします。可能な検査項目について実施していただければ幸いです。その場合、大阪医科薬科大学病院での検査を省略します。また、患者さんには「連携パス手帳」をお渡しし、自己チェックで気になることや日常の健康管理で気になることがあれば、かかりつけ医の先生に相談するよう伝えておりますので、よろしくお願いします。

4. 大阪医科薬科大学病院受診の前に

大阪医科薬科大学病院定期受診前の診療時には、可能であれば診療情報提供書を記載していただき、患者さんにお渡しください。

5. バリアンスと対処法

バリアンス		対処法
再発が疑われるとき	症状がなく、差し迫った生命の危険がないと思われるとき	2週間をめどに呼吸器外科受診
	症状がある、または差し迫った生命の危険があると思われるとき	電話連絡ののち呼吸器外科あるいは救急外来受診
内服薬（内分泌治療薬）による副作用	肝機能障害	2～4週間休薬後、肝機能を再検し、改善されていれば再開
		改善しないときは、2週間以内をめどに呼吸器外科受診

6. その他

- 投薬については、基本的にかかりつけ医の先生にお願いしております
- 投薬間隔は1～3ヶ月毎（かかりつけ医の先生のご判断）でお願いします
- 副作用等が疑われるときは、先生のご判断で適宜、投薬の中止・再開をしていただいて結構です
- 投薬終了後の通院間隔はかかりつけ医の先生のご判断でお願いします（できれば3～6ヶ月毎）・ 5年目以降のかかりつけ医の先生の診療は必要時（3～6ヶ月）にお願いします・

大阪医科薬科大学病院での定期受診は5年目までとしています

- 定期受診日以外でも必要があれば大阪医科薬科大学病院の受診を患者さんに案内してください

8. お問い合わせ先

大阪医科薬科大学病院　呼吸器外科

電話 072－683－1221（代表）（内2342）